

安全の為にしなければならない改造

1) ワイヤーロック

オイルドレンボルト・オイルフェラーキャップ・オイルフィルター・オイルチェックボルトのボルト等は、ワイヤーロック加工を施す事。

2) ガソリンキャッチタンク

ブリーザー付き燃料タンク及キャブレターに必ずガソリンキャッチタンクを装着し、その中は空にしておく事
また、転倒時にガソリンがこぼれるのを防ぐ為キャブレターからのエアークラップからもチューブを出し、キャッチタンクに繋ぐ事。

3) オイルキャッチタンク

4サイクル車には、必ず金属製のオイルキャッチタンクを装着する事。取り付けは、ボルト又は金属製のバンドで行う事。

4) アンダーカウル

4サイクル車は、使用している車両のエンジンオイル総量を、受け止められる事の出来る容量の形状を確保している事。

5) スプロケットガード・チェーンガード

チェーンとスプロケットの間に、身体の一部が誤って挟まれる事の無いように、リアスプロケットガードの取り付けが義務付けられる。又チェーンガードの取り付けを推奨する。

転倒時に、地面と接触する恐れのあるフェアリングに覆われていないオイルを保持する全てのエンジンケースは、2次カバーを取り付ける事を推奨する。

6) S Tクラス車両規則 (2018年6月追加)

APE、XR 車両は、キャブレター口径を22mm相当まで変更可能。

モンキー/KSR 系横置きエンジンは、キャブレター口径24mm相当まで変更可能。

競技の中断

- 1) やむを得ない事情により、レースの続行が危険と判断された場合、事務局は走行中の全競技車両をただちに停止させる事が出来る。

- 2) 全車停止の場合は、赤旗が振動表示される。
- 3) 競技が中断された場合、ライダーは最大限の慎重さと注意をもって走行し、赤旗が振られた時のコントロールライン通過順に、スタートライン手前で2列に並べられる。
- 4) ピットイン及ピットレーン進入車輛の再スタートは、ピットレーン出口にて待機しなければならない。
- 5) 赤旗提示周回に追い越しをしたライダーは、5周減算のペナルティーとする。

レース再開

- 1) 危険な状態が解消した場合、事務局はレースを再開することが出来る。
- 2) スタート後、トップが3周を完走する前の赤旗に対する再スタートは、そのレースが開始される前の時点からのスタート進行に則して行なわれる。
- 3) スタート後、トップが3周以上完走した場合の赤旗に対する再スタートは、先導車によるローリングスタートとする。
- 4) ピットレーン待機車輛は、再スタート後、最後尾車輛がピットレーン出口を通過後、オフィシャルの指示に従ってスタートする事。
- 5) 赤旗再スタート方法は、ライダーズミーティングで告示される。

ピット作業

- 1) ライダーは、レース中マシン調整や給油の為ピットに戻ることが出来る。
- 2) 燃料補給時には、必ずエンジンを停止し、燃料補給に携るスタッフは、保護具ならびに適切な防火服を推奨する。最低でも、長袖、長ズボン、目の保護用ゴーグルは着用する事。
- 3) 各チームは、適切に作動する消火器を必ず準備する事。車検時に検査し車検ステッカーを貼る。
- 4) 燃料補給作業中、消火器を持って待機する要員を必ず1名用意する事。
- 5) 本事項の違反については、競技結果より**3周減算**のペナルティとする。

競技車両変更

- 1) レース競技中、重大なマシントラブル・転倒等、スタート車両が走行不可能となった場合、事務局への申告後、予備車両での走行を認める。その場合は賞典外とする。車両クラスは問わない。

- 2) スタート車両がエンジントラブルにより、走行不可能になった場合は、同クラスエンジンに限り換装を認める。
車体での持ち込みも可能だが、エンジンを降ろし載せ替えなければ成らない。又エンジン単体での持ち込みは可能。この場合は賞典外としない。但、車検は受けること。

ライダーについて

- 1) 全ての参加者は、明朗かつ公正に行動しスポーツマンシップに則ったマナーを保つ事。
- 2) 1チーム、5名迄で構成する事。エントリーしたチーム以外での走行は認められない。
但し、次戦にて、他チームからのエントリーは可能。
- 3) 1チーム国際A級ライセンスホルダーは1名とし、スタートライダーで有ってはならない。
2名以上の国際ライセンスホルダーのチームは、賞典外出走となる。
- 4) 当レースに初参加又はレース経験の浅いライダーは、エントリー時に、事務局に届けなければならない。
そのライダーは、レース前練習走行にて、ゼッケンNOベストを着て必ず1回は走行する事。
- 5) 練習走行又はレース中、タイム等を考慮し、事務局はベスト無しでも大丈夫と判断した場合は外すことが出来る。
- 6) ベスト着用ライダーに対する追い越しは、安全且スムーズでなくてはならず、危険な追い越しと、事務局が判断した場合、競技結果から3週の減算とする。
- 7) レース中、他のライダーに比べ速度が遅いライダーは、事務局よりゼッケンNOベスト着用を要請する場合がある。
- 8) ツナギはM F J 公認を推奨し、脊椎パッドは必ず装着する事。ヘルメットはM F J 公認フルフェイスとする。
グローブは皮製、ブーツはくるぶし迄保護する2輪用とする。

タイヤについて

- 1) タイヤの制限は無しとする。レース中のタイヤ交換の制限はしない。
- 2) 耐久レースなので、タイヤマネジメントもレース采配には大事なことであり、フレッシュタイヤに交換する時は、必ず脱落しないように確認する事。

特別規則

- 1) ピットロード走行速度が速く危険な為、ピットロード内では、1速走行（スクーターはその速度に準ずる）とし、安全な速度（20 km/h 程度）で走行する事。主催者、オフィシャルが判断し、余りにも早い車輛は、競技結果より**5周減算**のペナルティとする。
ピットロード入口、出口にパイロンを立て、その間は1速走行を守る。
- 2) ポイント獲得順位車輛（1～3位）は、主催者判断で排気量検査を行なえる事とする。該当車輛は、指示を受けた場合、速やかに排気量を測れるまで分解し提示する事。これを拒否した場合は失格とする。
- 3) 本大会は、スポーツマンシップに則り競技会を運営するものであり、競技に参加又観客を含め、チーム間の抗議に付いては主催者に申し出る事とする。
- 4) 此れに違反した競技参加者（チーム）は、失格及観客は退場とする。
- 5) STクラスに於いて、**総合10位に入賞したチームは、次戦よりOPEN**クラスに昇格とする。

エントリーについて

- 1) 2018年も、年間エントリー及2戦エントリーを受付ける。
- 2) 受付開始は、平成30年1月15日（月）から平成30年3月3日（土）消印有効までとする。
- 3) エントリー用紙に全戦○をし、82,000円（税込）を振込むこと。保険代は別途。
- 4) 2戦エントリーは、参戦番号に○をし、44,000円（税込）を振込むこと。保険代は別途。
- 5) 年間エントリーチームには、年間ゼッケンを与える。希望ゼッケンが有る場合はエントリー用紙に明記する事。但しランキング指定ゼッケン以外とする。
- 6) 2018年ランキング指定ゼッケンチームも希望ゼッケンを受付ける。その場合ランキングゼッケンは欠番となる。
- 7) 年間エントリーチームは、ライダー変更、保険加入が無い場合は、毎レース用紙の送付は要らない。但し、変更が有る場合は、メールにて事務局まで連絡する事。2戦エントリーも送付は要らない。

8) 各レースにエントリーするチームは、25.000 円（税込）保険代別途とし、各エントリー期間内に申込書を送付、送金する事。

9) スポーツ安全保険加入ライダーは、必ず氏名、年齢を明記する事。保険受付は、レース4日前に締切。それ以降の保険加入は出来ない。（名簿、着金確認後の適応となる為）

尚、当日ライダー変更は可能ですが、スポーツ安全保険には、上記の通り加入出来ません。

10) スポーツ安全保険は、2018年3月1日～2019年3月31日までです。

11) 「参加受理書」は発行しません。ホームページに年間エントリーリストチームを掲載致しますので確認下さい。毎エントリーチームに付いては、レース前発表の正式エントリーリストで確認下さい。

車載カメラについて

1) カメラはボルトオンとし、テープ等で補強する事。走行中に転倒以外で脱落させた場合はペナルティとして減算する。車検時に装着の報告をする事。

2) ドローン撮影に付いては、サーキットコースをバイクが走行していない時間帯での撮影は許可する。走行中はコース外の撮影のみ許可する。

3) 年々カメラ、動画も多彩になり、楽しい映像であれば、関西6時間耐久レースの盛り上になるので許可の範囲を広げた。

4) 転倒し車載カメラがコース上に脱落、オフィシャルが安全上速やかに撤去する際、コース外に放り投げる場合が有ります。故障してもチーム及ライダーの責任と致します。

レース抗議について

1) 正式に登録されたライダーのみが、抗議申し立てが出来る。

2) 抗議はレースがスタートし終了、確定結果までとする。

3) 確定結果後の抗議は、一切受け付けない。

シリーズポイントについて

- 1) 各レースに下記ポイントが与えられる。
1位30P、2位25P、3位20P、4位15P、5位10P、
6位8P、7位6P、8位4P、9位2P、10位1P
- 2) 最終戦で決定したシリーズポイントトータルが同ポイントの場合は、全戦の周回数合計が多い方が上位とする。
- 3) 同周回数の場合は、入賞回数が多い方が上位とする。

補足〈車両規則〉

2009年より4サイクル、2サイクル、スクーターの3クラスでのレースを開催して参りましたが、スクーターが減り、ここ数年、2サイクルの生産販売車両が減少した関係で、2017年より2サイクルクラスに影響が出始め、2サイクルクラスのレース成立が難しく成って来ました。

4サイクルは、NSF100、Z125、GROM等レースキットも多種多様販売され充実して来ました。

そして2017年よりクラスを「OPENクラス、S Tクラス」に改定させて頂きました。

主催者側からしましたら「4サイクル、2サイクル」の分け方の方が楽では有りますが、2サイクルの方が早い！と言う時代も過ぎ、総合結果を見る限りでは、4サイクルがトップに君臨する事もしばしば有りました。

ですので、岡田商事様、エントラント代表とも話をさせて頂き、一応の評価を得られましたので、引き続き2018年も「OPENクラス、S Tクラス」にて開催させて頂きます。

2018年も宜しくお願い致します。

・**OPEN クラス** 4サイクル 115cc 以上、126cc 未満。

2サイクル 70cc 以上、81cc 未満

HRC GROM

改造無制限

・**STクラス** 4サイクル 100cc 未満

2サイクル 50cc 未満

・エアクリーナーBOX 取り外し、エアファンネル装着可能、キャブレターのジェット数、

・ 最終減速比の変更可。

・マフラー、チャンバー交換可能。

NSF100,Z125,GROM,KSR110 は、エンジンノーマル状態での参加可能。

・レース用 CDI 変更不可。

・マフラー交換可能。

スクーターに付いては、排気量、吸排気系改造の有無、プーリー及ウエイト等の仕様

変更を上記規定に準ずるとし、各クラス編入とする。

外装は、社外品に交換する事は可能。ステップ、フェンダー、カウルの装着。